

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
<p>主任教諭</p> <p>園長</p> <p>主任教諭・参会者 園長</p>	<p>1 開会の言葉</p> <p>これより、令和7年度第1回幼稚園評議員会を開会いたします。</p> <p>なお、本会議は、加須市審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱に基づきまして、会議を公開することとなっておりますこと、また、本日の会議の会議録につきまして、後日、花崎北幼稚園のホームページで公表いたしますことをあらかじめご報告申し上げます。</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 あいさつ</p> <p>市立幼稚園における幼稚園評議員会の設置と評議員の役割につきましては、「加須市立幼稚園管理規則」の第21条の1に「園長は、幼稚園評議員を置くことができる」と、同条の2に「園長の求めに応じて、幼稚園の教育目標や計画、教育活動の実施、幼稚園と地域との連携の進め方など園長が行う幼稚園運営に関して意見を述べ、助言を行うものとする」と示されております。これらに基づき、改めて委嘱状をお渡しさせていただきました。</p> <p>本日は、第1回でございますので、本園の経営方針等についてご説明申し上げますので、後ほどご意見を賜りたくお願い申し上げます。また、説明後は、クラスの保育活動の様子をご覧くださいますのでよろしく願いいたします。</p> <p>4 参会者自己紹介</p> <p>5 本園の教育に「方針と方策」についての説明</p> <p>(1) 幼稚園教育の重要性についての発言</p> <p>資料の1ページをご覧ください。幼稚園は、集団活動を行いながら、家庭では体験できない社会・文化・自然などに触れ、教員等に支えられながら、幼児期なりの豊かさに出会う場でございます。そして、3歳以上の幼児を対象として、幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする学校であって、小学校以降の生活や学習の基盤を培う学校教育のはじまりとしての役割を担っております。幼稚園は文部科学省が管轄の学校なのです。ですから、幼稚園は小・中学校と同様に文部科学省の「幼稚園教育要領」に基づいて教育が進められております。</p> <p>したがって、幼稚園では計画的な「遊び」を通して、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育を行っております。</p> <p>【幼児期の発達の特性に応じた幼稚園教育】</p>

幼稚園における教育は、遊びが重要です。遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれています。幼児は、遊びに対して主体的に関わり、友達との関係が深まり、相手に自分の考えや思いを伝え合って活動をすることで、諸能力が相互に関連し総合的に発達していきます。そのような遊びの中で幼児は、達成感、充実感、満足感、挫折感、葛藤などを味わうことで精神的に成長していくようです。そのため幼稚園は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育を行っています。

幼稚園教育は、環境を通して行う教育です。それには人的環境は大きいのです。家庭は愛情やしつけなどを通して幼児の成長の基礎となる心身を形成し、地域社会は様々な人との交流や身近な自然との触れ合いを通して豊かな体験ができます。そして幼稚園の教師は、一人一人の幼児を理解し、環境を計画的に構成し、幼児が集団の中で主体的に活動できるように援助をすることが大切です。幼児の内面に働きかけ、一人一人の持つ良さや可能性を見いだし、その芽を伸ばすことをねらいとしているため、小学校以降の教育と比べると「見えない教育」と言われることもあります。

保育の環境とは、幼児が安心して成長できるような環境を教師が整え、幼児が主体的に活動し、学びと成長を促していく保育のあり方です。具体的には、人的環境、物的環境、自然・社会環境の要素が挙げられます。

- ・人的環境…教師、同年齢・異年齢の友達、小・中学生、地域の方など。
- ・物的環境…園庭や保育室の遊具、用具など、幼児が触れるもの全て。
- ・自然・社会環境…自然事象に関わるもの、社会環境に触れること。

幼稚園教育は、幼児が社会に必要な資質や能力を育成し、好奇心や探求心、創造性、協調性、自己調整能力などを育み、「確かな学力」「豊かな人間性」「生きる力」の基礎を育成する役割を担っています。

(2) 本園の現状について

資料の3ページをご覧ください。本年度の園児数です。年少（3歳児うさぎ組）9名、年中（4歳児いちご組）15名、年長（5歳児ほし組）11名、合計35名で、各学年とも1学級です。

令和8年度から正式に8園で運営し、学区が廃止され市内のどの幼稚園にも通園できるようになります。

別冊の幼稚園要覧をご覧ください。職員は、専任の園長、主任教諭、そして、各学級の担任の教諭3名、保育を補助する幼稚園業務補助員が3名の計8名です

(3) 本年度の「経営方針」及び「重点とする取組」等について発言資料の5ページをご覧ください。昨年度の評価やご意見をもとに本年度の「経営基本方針」や「重点とする取組」設定いたしました。

1つ目に「個に応じた指導・援助と小学校への円滑な接続」、2つ目に「幼児の変容と成長を実感できる教育の実現」、3つ目に「家庭・地域との協働による教育の推進」です。この柱は、基本的には昨年度の経営の方針とほぼ同じでございます。先ほどご説明申し上げました「幼稚園教育の重要性」の基本となる考え方が大枠として示してあります。

この方針を踏まえ、本年度の重点とする取組を以下のように設定しました。こちらについては、1学期の保育活動についての説明の際に主任から申し上げます。資料には、全体像の幼稚園グランドデザインとして本年度の教育についてまとめてありますのでご覧ください。

(4) 1学期の保育活動について発言

4月9日のはじまりの式、入園式を終え、新年度がスタートしました。各学年に入園児を迎え、はじめは、新たな環境やそれぞれの経験の差に戸惑う幼児もいましたが、徐々に慣れてきて友達と関わりながら元気いっぱい活動してします。

本年度も、昨年度に引続き「心豊かに育ちあう幼児の育成」を職員全体の研修課題に設定し、異年齢児や地域の人々との関わりを通して、多様な体験ができるように努めています。昨年度は3学年の縦の交流を積極的に取り入れたことにより、相互に育ち合う姿が見られました。今年度も活動内容を教師間で検討し、積極的に取り入れていきたいと考えます。

保護者の保育参加も、昨年度に引き続き実施しております。プール活動、紙芝居など、多くの保護者の方に参加をいただいております。また、主に年長組を対象に花崎北小学校と連携して小学校のプール施設を使ったり、集会活動や授業への参加も実施したりし、積極的に小学校との交流も行っております。

さらに、幼稚園応援団（地域ボランティア）による活動として、体験活動を通して子どもたちが学ぶ機会をもつことができるように、「幼児体操」や英語を使いながら遊ぶ「キラキラベリー」等も実施しております。

2学期以降は、運動会や遠足等の大きな行事も計画しています。本年度も、様々な活動を通して、子どもたちの豊かな経験が学びにつながるよう援助していきたいと考えています

6 保育視察

7 協議【質疑・応答・意見交換】

蜂巢 評議員	○絵本の部屋を見せていただいて、貸し出しについてとてもいい取組だと思いました。親が興味をもたないとなかなか絵本に触れる機会がないと思うので。以前からやっているのですか？
園長	○はい。公立の幼稚園では多くの園で取りくんでいます。絵本に触れる機会が少なくなってきましたね。こどもたちが映像を見ることが多くなっている現状がある中、このような機会は貴重ですね。絵本を通して育つ豊かな創造性を大切にしていきたいです。
蜂巢 評議員	○一回だけではなく継続することで、大人になっても蓄積されると思うので、貴重な取組ですね。
井上 評議員	○笹飾りは台に立てて飾り付けをされていて良かったです。また、学年によって願い事も違いますね。○○になりたい。ではなく○○したい。できるようになりたい。など、現実的で時代によっても違いがあると感じました。
園長 主任教諭	○笹飾りも、学年によって様々なものを作っている様子を見ていただきました。4歳児で作っていた折り紙の天の川のように、こどもだけでは難しいものでも、保護者と一緒ならできるという製作を本日は取り入れました。
井上 評議員	○全体的に落ち着いているように感じました。静かにちゃんと座って集中して取り組んでいましたね。
主任教諭	○一人一人個性豊かで元気な姿も見られますが、比較的普段から落ち着いて話を聞く姿も見られます。
福島 評議員	○絵本の取組に感動しました。部屋に色々な本が揃えられていましたね。それらは幼稚園で購入したものでしょうか？
園長	○そうですね。購入したものや寄付されたもの、図書館から譲渡されたものなど様々です。
福島 評議員	○年長組は、保護者が文字と一緒に書いたり教えたりしながら短冊に自分で書いていましたね。これから文字を教えていくのですか。
園長	○公立幼稚園は、教育要領に基づいて教育を行なっています。その中に「文字や数字を教えましょう」というものはありません。文字に触れることによって興味をもてるよう促しています。本日の活動のように、保護者に教えてもらいながら一緒に書くことによって、文字に興味をもったり、書くことができた自信につながったりしていきます。その経験によって自分でも書いてみようという気持ちをもてるように方向付けしていくような教育を行なっています。
福島 評議員	○学校に向けて、少しずつでも文字を読んだり覚えたりすることができるようになるというのは良いことですね。
園長	○そうですね。例えば、遊びの中でこどもたちがみんなで○○屋さん

主任教諭	<p>の看板を書いたり、友達が書いている様子を見たりしながら、遊びの中で興味もてるように環境を整えます。教師は、教えるのではなく、文字に触れる機会を大切にしています。</p> <p>○保育室の文字環境の中が学年によって増えいくよう意図的に設定していきます。</p>
園長	<p>○長期の預かり保育については、今年から試行的に始まるので、どれくらいの方が利用するかを見ていきたいと思います。</p>
井上 評議員	<p>○お弁当を持ってくると聞きましたが、管理はどのようにするのですか。</p>
園長	<p>○大きな給食用の冷蔵庫を利用します。</p>
井上 評議員	<p>○衛生上心配なので、そのほうが安心ですね。</p> <p>○幼稚園の先生がいるときに預かり保育があるのですか。</p>
主任教諭	<p>○そうです。閉庁日には行いません。</p>
井上 評議員	<p>○入園希望者が増えそうですね。今は働いていると幼稚園に通わせるのは難しいということで、幼稚園離れにつながっていましたが、やってもらえるとなると助かりますね。</p>
園長	<p>○長い保育時間や土曜日の利用を希望する方もいらっしゃるので、ご家庭の状況に応じて今後は幼稚園も選択肢の一つに入れていただけるといいと思います。</p>
園長	8 謝辞
主任教諭	<p>9 閉会の言葉</p> <p>多くのご意見をいただきありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度第1回幼稚園評議員会を閉会いたします。</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和7年6月27日</p> <p style="text-align: right;">署名 <u>園長 大和田 梨恵</u></p>	